NIE実践報告

１．タイトル：新聞記事から考えよう

２．学校名

身延町立西島小学校

３．実践者名（代表者名）

藤田勝文

４．学年

第５学年

５．教科・領域名および受講児童・生徒数

社会　８人

６．単元（本時の学習課題）名

工業生産をを支える人々

７．目標(狙い)

新聞記事や統計資料などから、日本の自動車産業の、外国との関わりの深さを知り、貿易による世界各国との結びつきや協力が、日本の工業生産に必要であることを理解する。

８．評価の視点

新聞記事やグラフなどの資料を比較しながらすすんで読み取り、自動車産業が世界各国の関わり合いの中で行われていることを読み取っている。

９．年間指導計画における本単元の位置づけと時数
（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

工業生産を支える人々（２５時間）

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

①オリエンテーション（１時間）
②第１次　自動車会社をたずねて（１２時間）（１）自動車づくりにはげむ人々（２）自動車がとどくまで
（３）これからの自動車づくり
③第２次　自動車は世界へ（３時間）
３時間の１時間目が本時…タイの水害による他国の自動車工業の影響をあつかった５種類の新聞記事を活用
視点…タイで洪水が起こると、他の国の自動車工場が止まってしまうのはなぜだろう
④第３次　工業の今と未来（８時間）（１）日本の工業の特色を考えよう（２）まちの工場の技術が世界へ
（３）これからの工業生産
⑤自動車すごろくをつくろう／回る絵本をつくろう（１時間）

11．児童・生徒の反応、感想・意見

児童は、新聞記事を読むことに慣れているので、素早く反応して自分の考えや感想を発表していた。「新聞記事が提示されたことにより、新しい情報がわかり、世界とのつながりを実感できた」「写真は、記事を読み取るのにとても参考になる」などの感想が子どもたちから出された。

12．成果と課題

自動車づくりが多くの国内関連工場だけでなく、世界各国の部品工場や組み立て工場と密接に関連していることが、新聞記事を通して児童のより深い理解につながったといえる。教科書で扱っている学習内容が、世の中の動き（＝新聞記事）で確認できること、また文字と写真の情報であるための「見直せる」「考える時間ができる」等の利点を生かして活動できたことは、成果である。記事をより有効に活用するためには、記事の選択や提示のタイミング、他の資料との関連づけなど、指導者側の準備がどのくらい充実しているかが課題である。